

**SQL パフォーマンス・チューニング ～研修受講前テスト 解答～****■問題1【アクセス・パス】**

アクセス・パスについて、正しいものを1つ選びなさい。

- 全表スキャンでは、表領域内のすべてのデータ・ブロックにアクセスする。
- 索引スキャンでは、まず索引にアクセスし対象データのROWIDを確認してから表にアクセスする。
- 索引スキャンでは、1回のディスクI/Oで複数のブロックをまとめて読込める。
- ROWIDスキャンの使用が推奨されている。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>1-9～1-17

**■問題2【オブティマイザと実行計画】**

コストベース・オブティマイザの特徴について、誤っているものを1つ選びなさい。

- 表のデータ量などの情報をもとに実行計画を決定する。
- 最初に実行計画の候補を複数作成する。
- コストとは、その処理を行うためにかかる時間のことである。
- 一部の初期化パラメータの設定は、実行計画の選択に影響を与える。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>1-19～1-22

**■問題3【SQLの診断ツール】**

SQLの実行計画を確認する方法について、正しいものを1つ選びなさい。

- SQLトレースを使用するとSQLの実行計画を確認できる。
- V\$SQLSTATSビューを使用するとSQLの実行計画を確認できる。
- SQL\*Plusの機能ではSQLの実行計画を確認できない。
- 実行計画を確認するには、必ずSQLを実行する必要がある。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>2-2～2-28

**■問題4【索引作成のガイドライン】**

索引を作成するガイドラインについて、誤っているものを1つ選びなさい。

- WHERE 句の絞込みにより、総行数の 15%未満となる列に索引を作成する。
- 結合を行う表の結合条件に指定する列には索引を作成しない。
- 列に含まれるデータの一意性が高い列に索引を作成する。
- 単一列の索引では効果が小さい場合は、コンポジット索引（複合索引）を検討する。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-3~3-6

**■問題5【索引の注意事項】**

索引の注意事項について、正しいものを1つ選びなさい。

- 索引は表にデータを挿入する前に作成することが望ましい。
- 使用頻度が低い索引は、再作成するとパフォーマンス向上が期待できる。
- 表のデータが変更されたら、管理者が明示的に索引のデータも変更する。
- 索引を作成する場合は、ソートの負荷に注意する。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-9~3-17

**■問題6【効率的な SQL の記述】**

効率的な SQL の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- 索引が使用できる条件を満たしていると、コストベース・オプティマイザは必ず索引スキャンを選択する。
- ヒントを使用すると、任意の実行計画を強制できる。
- コストベース・オプティマイザが決定する実行計画は、常に最も効率的である。
- 索引はWHERE句以外では使用されない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>4-1~4-29

**■問題7【効率な SQL の記述】**

以下の SQL は WHERE 句の条件列に索引が作成されています。索引が使用されない SQL を 2 つ選びなさい。

- SELECT ename FROM emp WHERE empno = 7349;
- SELECT ename FROM emp WHERE sal\*1.1 > 950;
- SELECT ename FROM emp WHERE comm IS NOT NULL;
- SELECT ename FROM emp WHERE TO\_CHAR(hiredate, 'YYYY/MM/DD') = '2010/05/01';
- 分からない

<テキスト掲載箇所>4-3~4-18

**■問題8【結合の種類】**

結合の種類について、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 一般的に、ハッシュ結合よりもソート/マージ結合の方がパフォーマンスが優れている。
- 大規模な表と小規模な表を結合し、少量のデータを取出す場合は、ネストド・ループ結合が適している。
- 表の大部分の行を結合する場合、索引を使用すると効果的である。
- ハッシュ結合は等価 (=) の結合条件では使用できない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>5-1~5-16

**■問題9【結合順序】**

3 つ以上の表を結合する場合の順序について、誤っているものを 1 つ選びなさい。

- WHERE 句に索引が定義されている表が先頭になる。
- まず 2 つの表を結合し、その結果作成された行と次の表を結合する。
- コストベース・オブティマイザは統計情報をもとに結合順序を検討する。
- 結合順序を強制することができる。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>5-19~5-24

■問題10【オプティマイザ統計】

オプティマイザ統計について、正しいものを1つ選びなさい。

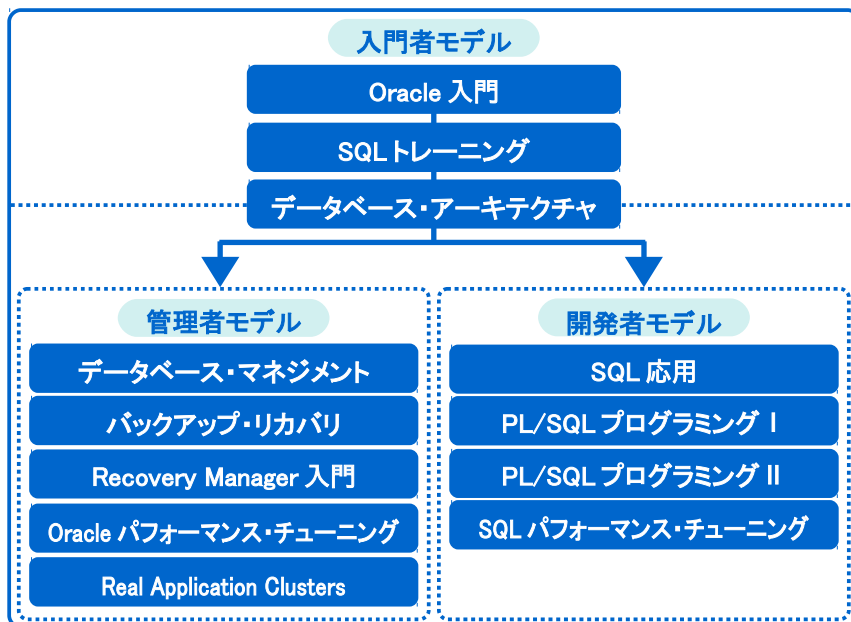
- オプティマイザ統計は手動で収集する必要がある。
- オプティマイザ統計を収集するタイミングは考慮しなくてよい。
- オプティマイザ統計はできるだけ最新であることが望ましい。
- 収集したオプティマイザ統計を異なるデータベースに移行できない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>6-9~6-18

**I**nformation

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。  
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】 [edusup\\_ora@ashisuto.co.jp](mailto:edusup_ora@ashisuto.co.jp)